

2023年1月8日（顕現後第1主日・主イエス洗礼の日、A年）

牧師メッセージ

「我々にふさわしいこと」

（マタイによる福音書3:13-17）

司祭ヨセフ太田信三

洗礼者ヨハネから主イエスへ＝預言者の時代から神の「愛する子」の時代へ。

主イエスの受洗によって、時代が変わろうとしています。主イエスはヨハネが思いとどませようとしても、「今は止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいこと」だと言い、洗礼を望みました。「我々」とは、イエスとヨハネだけではなく、ヨハネのもとへ洗礼を受けるために押し寄せているおびただしい群衆をも含む言い方です。神の愛する子は、すべての命を「我々」と言って下さる方であることがここに示されています。その主イエスは、救いを求めてヨハネのもとに集う人々と共に歩むために、自らも洗礼を受けられました。そしてその人々が「今」すべき「正しいこと」を示しました。御子によるあたらしい時代を迎える「今」にあって、神が人に望む正しいこととは、ヨハネの呼びかけに応え、回心の洗礼を受けること。つまり、神から離れている心を、御子によって訪れる新しい時代に向けることです。主イエスはご自分も洗礼を受けることで皆と歩みを共にし、すべての人を来たるべき時代へと導こうとされているのです。

主イエスは神と人とを再び結ぶために、洗礼により、神の霊と祝福を受け、十字架への道を歩み始めます。主イエスが十字架上で絶命したとき、神殿の幕が避け、神と人とを隔てるものは取り去られました。このことに象徴されるように、主イエスは天と地の間に立てられた十字架の真ん中で、わたしたちと神をとりなしてくださいました。いわば、十字架は神とわたしたちを結ぶ架け橋となったのです。主イエスが洗礼を通して「我々」と一緒になってくださったこと、そしてご自分の命もろとも神のもとまで導いて下さるからこそ、わたしたちにとって十字架は命の架け橋となったのです。

主イエスが洗礼を通して、「我々」＝わたしたちと一緒にくださり、そして主イエスを信じ、御後に従うことで、わたしたちは神と生きる世界へと迎えられます。主イエスは十字架によって「今」も、わたしたちと神を結ぶ道となっていてくださっています。ですから、今を生きるわたしたちも、2000年前ヨハネのもとに押し寄せた人々に主イエスが示したこと、御子による新しい世界へと心に向けるなら、わたしたちも主イエスによってもたらされる新しい世界へと迎えられます。

わたしたちはヨハネの洗礼とは異なり、父と子と聖霊の御名による洗礼を授けられ、主イエスによってもたらされた新しい命、神と神の霊とともにある命をいただきます。この命をいただいている者として、あらためて「今」、心を神に向け、歩み始めましょう。